

あさか外来通信

H29.10月号



インプラントを 選ぶメリット

大切な歯を失ってしまった時、その部分を補う方法はいくつかあります。患者様ごとのお口の中の状態によって、最適な補綴方法をおすすめさせて頂いておりますが、今回は「インプラント」による補綴についてご紹介します！

💡インプラントをお勧めする理由

失ってしまった歯を補う方法は、大きく分けて3つあります。1つ目は「ブリッジ」、2つ目は「入れ歯」、3つ目は「インプラント」です。この3つはそれぞれ違った特性、メリット・デメリットがあります。

	ブリッジ	部分入れ歯	インプラント
メリット	固定式の為、違和感が少ない。 素材を選択(自費)すれば天然の歯に近づけることができ、 審美的にも ○	ブリッジでは適応できない本数の多い欠損にも、対応が出来る。 ブリッジのように健康な歯を削らなくても、歯を補うことが可能。	周りの歯に負担をかけずに治療することが可能。 見た目も噛む力も、 自分の歯とほとんど変わらず 違和感もない。 歯磨きしやすく衛生的。
デメリット	土台となる両隣の歯は、健康であっても削らなければならぬ。 被せ物の下は汚れが溜まり、不衛生になりがち。 場所によっては作製することが出来ない。	入れ歯のバネをかける歯に負担がかかる上に、噛む力は自歯の3割程度。 痛みや違和感が出ることもある。 食べ物が挟まりやすく、不衛生になりがち。	インプラントを骨に埋め入れる手術が必要。 医療保険適応外の為、 自費診療 となる。

インプラントは残っている周りの歯に、**最も負担をかけずに**行える治療となっています。ご自身の“大切な歯を出来るだけ長く使っていきたい”という方には、最適な治療方法と言えます。



インプラントの手術後
歯が入るまでの**期間**は？

インプラント埋入してから、しばらくの間は**治療期間**を取ります。従来、治療期間中はインプラント上に歯を被せることが出来ませんでした。当院では、最新の技術「**イミディエートファンクション** (即時負荷・機能)」によって、手術を行ったその日のうちに仮歯をつけて、**見た目の美しさ**と**噛む機能**を取り戻す事ができるインプラント治療が可能となっています。

埋入したインプラントが骨と結合するまでの数ヶ月間、仮歯を使う事が出来るので、**日常生活に支障がありません!**



医院からの お知らせ

いりょうひこうじょ
医療費控除を
活用しましょう♪

税

インプラントや自費の被せ物などの自由診療を行う場合、歯科治療にかかる費用は決して安いとは言えませんね。もし支払った**医療費**(歯科以外も含む)が**年間10万円**を超える場合、医療費控除で一部の金額が戻ってきます！

💡申告に必要な物

- ◆ 給与所得の源泉徴収票
- ◆ 医療費のレシート、領収書、交通費などのメモ
- ◆ 保険金で補填された金額がある場合には、その金額のわかるもの
- ◆ 申告者の口座番号

控除の対象は…

- ・ 医療保険
- ・ 介護保険
- ・ 自由診療
- ・ 交通費 (公共機関)



★ 領収証は大切に
保管しましょう!

過去の外来通信・医院についてはこちら

